



社福だより

主な内容	P1~7	第47回金ヶ崎町社会福祉大会 第75回岩手県社会福祉大会
	P8	トピックス1.2
	P9	トピックス3 教育支援資金
	P10	歳末たすけあい運動 歳末たすけあい演芸大会かねがさき 令和5年度福祉のまちづくり支援事業
	P11	事業所紹介
	P12	寄付の報告 会長の想い 学童保育所入所受付 ファミサポかねがさき会員募集

第47回金ヶ崎町社会福祉大会開催



11月10日(木)中央生涯教育センター大ホールを会場に、第47回金ヶ崎町社会福祉大会を開催し、受賞者、来賓のみなさま約50名にご参加いただきました。

「ともに語り ともに支え合い 生きがいをもって 安心して暮らせる地域社会の実現」をテーマとした式典では、社会福祉活動に長年ご尽力いただいた個人・団体、福祉作文で入賞された小中学生を表彰いたしました。

受賞者を代表し、スクールガードボランティアを18年間務めている伊藤俊豪様から「受賞を心の糧にして、社会福祉の推進を心がけながら活動を継続していく」と力強い挨拶をいただき、地域福祉の更なる充実に向けて意識を高めました。



◀福祉作文受賞者代表



◀受賞者代表挨拶

第47回金ヶ崎町社会福祉大会開催

* 金ヶ崎町社会福祉大会長表彰 *

● 社会福祉事業功労 (社会福祉施設等役職員)

[多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進に貢献した方]



谷 昭 男 様

金ヶ崎町身体障害者福祉協会
理事兼地区推進委員



高 橋 久 様

金ヶ崎町身体障害者福祉協会
理事兼地区推進委員



菅 原 志 保 様

金ヶ崎保育園保育士



千 葉 美 穂 様

特別養護老人ホーム友愛園
副主任介護員



渡 辺 明 恵 様

金ヶ崎保育園保育士



森 岡 知 子 様

特別養護老人ホーム友愛の家
介護員



千 葉 まどか 様

たんば保育園保育士



高 橋 麻 貴 様

特別養護老人ホーム友愛の家
介護員



高 橋 博 子 様

介護予防施設西光荘
看護師



埜 崎 民 子 様

交流ステーション友愛園
看護師



伊 藤 正 徳 様

金ヶ崎町社会福祉協議会
監事



小 野 寺 孝 太 様

特別養護老人ホーム友愛の家
所長



小 関 久 美 子 様

金ヶ崎町社会福祉協議会
介護福祉課介護職員



渡 辺 織 恵 様

特別養護老人ホーム友愛園
介護員



松 川 千 鶴 子 様

金ヶ崎町社会福祉協議会
西学童保育所リーダー



亀 井 美 里 様

友愛園デイサービスセンター
介護員



菊 地 桂 子 様

金ヶ崎町社会福祉協議会
三ヶ尻学童保育所リーダー

● ボランティア功労

[多年にわたり、ボランティア活動に取り組み、社会福祉に貢献した個人及び団体]



いとう しゅんごう 様
伊藤俊豪様

スクールガードボランティア



さとう いくこ 様
佐藤以久子様

調理ボランティア



さかもと しげこ 様
坂本シゲ子様

調理ボランティア



つなみ みえこ 様
角南美枝子様

見守りボランティア



にししょうよ きかい
西小読み聞かせの会
「セフィロス」様
読み聞かせボランティア



● 褒賞 (在宅介護)

[多年にわたり、在宅要介護者の介護に携わってきた方]



ふじわら いくえ 様
藤原郁枝様

在宅介護者



まつもと ななこ 様
松本奈奈子様

在宅介護者

● 感謝状

[社会福祉事業の推進のために多大なる活動資金をお寄せいただいた個人及び団体]

えん どうただお
遠藤忠雄様

ワークステーションかねがさき指定寄付



ひがしにほん
カリツー東日本(株)様
はっぴいふれいす寄付

【中央共同募金会長感謝状】

● 中央共同募金会長感謝状

[共同募金運動に多大な浄財をお寄せ頂いた個人及び団体]



じどうしゃひがしにほん
トヨタ自動車東日本
労働組合様

共同募金寄付

● 岩手県共同募金会長感謝状

[共同募金運動に多大な浄財をお寄せ頂いた個人及び団体]



きょうえい うん ゆ かぶしき がいしゃ
共栄運輸株式会社様

共同募金寄付



ゆかい
かみしも結いの会様

共同募金寄付



* 福祉作文入賞者表彰 *



● 小学校低学年の部



* 最優秀賞

おばあちゃん、はやくかえってきてね

まつ ざわ ゆい か さん (第一小学校 2年)



* 優秀賞

やさしい気もち

きく ち ひろ と さん (西小学校 2年)



* 審査員特別賞

じゃがいもほり

ふじ わら ゆい と さん (三ヶ尻小学校 2年)

● 小学校中学年の部



* 最優秀賞

知ることと想ぞうする力

ひら さわ み な さん (金ヶ崎小学校 4年)



* 優秀賞

笑顔にしたい

わた なべ かず ま さん (西小学校 4年)



* 審査員特別賞

だれかの力になりたい

お ざわ り お さん (西小学校 4年)

● 小学校高学年の部



* 優秀賞

誰かを助けるために

き むら さくら さん (三ヶ尻小学校 5年)

● 中学校の部



*最優秀賞

「すべての人に幸福を」

高橋 優芽 さん (金ヶ崎中学校 1年)



*優秀賞

すみやすい町を目指して

高橋 彩花 さん (金ヶ崎中学校 1年)



*審査員特別賞

金ヶ崎について考える

中西 琴音 さん (金ヶ崎中学校 1年)



*審査員特別賞

住み続けたい町へ

高橋 幸希 さん (金ヶ崎中学校 1年)

福祉作文最優秀作品

小学校低学年の部

おばあちゃん、はやくかえってきてね

金ヶ崎町立第一小学校 2年 松澤 結花

わたしが一年生の春休みのときです。大すきなおばあちゃんが「のうこうそく」というびょうきになりました。それから長くにゆういんしています。わたしはとってもしんぱいでした。でも今は、少しだけでも話せるようになりました。おばあちゃんがときどきでん話をかけてきます。とてもうれしくてわたしがでん話に出て話をします。「おじいちゃんと話したいの?」と聞いたら「うん。」とこたえてくれました。それから一週間がすぎてびょういんにいくようじができました。わたしはおばあちゃんに絵と手がみを書きました。びょういんについたらかんごしさんに手がみをたのもうと思っていました。そうしたら、ぐうぜんにもろうかにおばあちゃんがいました。とてもうれしくてうれしくてすこしだけ話をしました。おばあちゃんは、リハビリテーションをがんばっているようでした。おばあちゃんと話をしてとってもいいきもちになりました。

その日のよる、ねていたら、おばあちゃんがゆめの中に出てきました。おばあちゃんがげん気になってたいいんしていえにかえってくるゆめでした。わたしはとってもいいきもちになりました。おばあちゃんがげん気になっていえにかえってきたらいっぱいあまえたいけど、足がうまくつかえないようなので、もう少しがまんしようと思います。足がうまくつかえるようになったらいっぱいあまえたいです。

おばあちゃんがげん気なときには、あさからばんまで畑のしごとをしていました。夏のあついときにも、あんなにつらいしごとをしているのに、なんでねっちゅうしょうにならないんだろうと思いました。

おばあちゃんはねこが大すきです。えさもわすれずにあげます。かぞくのごはんもつくってくれます。わたしはそんなおばあちゃんが大好きです。今はいえにいないのでさびしいです。おばあちゃんはやくたいいんしてね。

わたしは、一学期に学校で、キャップハンディ体験をしました。その中で、「知ること」と「想ぞうする力」の大切さについて、考えさせられました。

その日はキャップハンディ体験として、白杖体験と車いす体験をしました。社会福祉協議会の方々に、白杖の使い方や、車いすの動かし方などを教えていただきました。初めてのことで、たくさん知ることができました。

白杖体験では、白杖をもって、アイマスクを付けて校舎の中を歩きました。目の前が真っ暗で、自分がどこにいるかも分かりませんでした。けれど、友達が方向や物の位置を教えてくれたので、安心して歩くことができました。でも、目の不自由な人は、街の中で困ったことがあったとき、だれにも聞けなくて不安なんだろうなと想ぞうしました。

車いす体験では、ゆっくりやさしくおすことや、坂道では車いすをくるっと反対向きにしておすと良いことを知りました。実際におしてみると、段差のところがむずかしかったです。車いすに乗りながらそうさするのは大変だなと思いました。

キャップハンディ体験の後、わたしたちの学級では点字の学習にも取り組みました。点字について調べ学習をしたり、実際に点字を打ったりしました。そこでわたしは、点字やユニバーサルデザインについて、もっと知りたくなりました。調べてみると、すいはん器や洗たく機のボタンのところに点字がついていました。歩道や図書館や駅の中などには、点字ブロックがありました。牛乳パックには切欠けというへこみがありました。出るときも入るときもおすと開くドアや、音ではなく光やしん動で知らせるそうちがあります。おしやすいスイッチなどユニバーサルデザインの考え方が取り入れられた道具がたくさんあることを知りました。こういうものがふえると、しょうがいがある人たちだけにかぎらず体の弱い人や小さい子供やお年よりもべん利だと思いました。

しかし、べん利な道具だけでは、かいてきにはくらせないと思います。点字ブロックの上に何か物が置いてあったら、目の不自由な人は困るだろうなと想ぞうできます。

わたしは、キャップハンディ体験の学習を通して、体の不自由な人たちの気持ちが、少しだけ分かった気がします。分かったからこそ、困っている人がいたら進んで声をかけたいと思います。そして、もっともっと知っていかないとはいけません。しょうがいがある人たちもわたしたちも、だれもがくらしやすくなるために、相手の気持ちを想ぞうしてみましょう。「知ること」と「想ぞうする力」を身に付けて、わたしたちにできることを少しずつふやしていきたいです。

小学四年生のころ私は今までにない体験をした。「福祉体験」だ。高齢者の気持ちになる高齢者体験や目、耳、体が不自由な人の気持ちになる体験などたくさんの体験をした。私は今までにない感覚、体、気持ちになり、一生残り続けるであろう体験をした。特に心に残っているのは、目の不自由な人の体験だ。目の前が真っ暗でまわりに人はいたけど、一人にいるようでとても心ぼそい気持ちになった。だからこそ目の不自由な人はこれを毎日平然のようになし生きていると思うと、尊敬する気持ちと心ぼそい悲しい気持ちで胸がいっぱいになった。すべての体験が終わったころちょうど学習発表会の時期になっていた。クラスみんなで考え、学習発表会で学んだことを発表することになった。みんなはりきって調べものをしたり、絵を書いたり、実際に体験しているところを見せて発表する計画などちやくちやくと準備が進んでいった。そしてついに本番がきた。台本どおりに進んでいき、発表は大成功でまくを閉じた。うれしくて一生の思い出になった。

また、福祉はそれだけじゃない。自分たちの町を住みやすくすることもまた福祉だ。私は地域の自然が好きだ。自然が大好きだ。私は自然を守っていきたい。そこで私の地域は一年に何回かごみ拾いを行っている。

ささいなことだが、そのままの自然を守るためには大事なことだと思う。また、ごみ拾いを行い参加することで、地域の方とのふれ合いの場にもなると思う。少し遠くに住んでいる人や普段は関りづらい高齢者の方々も、参加するので、地域の人とふれ合う数少ない場になっていると思う。私は少しでも話せないのもっと関わりを持てるようにがんばりたい。自然を守る取り組みをしながら地域の人達とも関われるのでまさに一石二鳥だ。私の地域でごみ拾いという活動があってよかったと思った。改めて、これからも参加していきたいと思った。

私がこの作文で伝えたかったことは、金ケ崎町のいいところを維持していきたい。また、すべての人に幸福がおとづれてほしいという思いだけだ。そのためにも、私は、大好きな自然、この町のために今の私ができることをやっていきたい。困っている人がいたら助ける、物が落ちていたら拾う。あたり前のことだけどその小さな努力がいつか大きな力となって幸せになることを信じ、私は今、この時を生きたいと思う。



第75回岩手県社会福祉大会

10月28日(金)岩手県民会館を会場に、第75回岩手県社会福祉大会が開催されました。

当町からは、次の方々が受賞されました。

●岩手県知事表彰

* 民生委員児童委員

【多年にわたり民生児童委員として社会福祉事業の推進に貢献し、その功績が顕著な者】



みやもと ゆきこ
宮本 幸子 様
主任児童委員

* 施設長又は従事者

【多年にわたり社会福祉施設の役職員として社会福祉事業の推進に貢献し、その功績が顕著な者】



いたみ せいちこ
板宮 勢智子 様
金ケ崎町社会福祉協議会
ワークステーションかねがさき 看護師兼生活支援員

●岩手県社会福祉大会長褒賞

* 在宅介護者

【多年にわたり、在宅介護者の介護に携わった個人】



うえまつ みさこ
上松 ミサ子 様
在宅介護者



みやだて よこ
宮舘 ヨ子 様
在宅介護者



あべ よしこ
阿部 佳子 様
在宅介護者

●岩手県社会福祉大会長表彰

* 社会福祉事業功労者

【多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進に功績が顕著な者】



きくち せいじゅ
菊地 成壽 様
金ケ崎町社会福祉協議会 理事



ぐんじ あきら
郡司 彰 様
金ケ崎町社会福祉協議会
総務企画・地域福祉課長



さとう つよし
佐藤 侃 様
民生委員児童委員



あきさわ ちかこ
秋澤 千賀子 様
民生委員児童委員

* 永年勤続功労者

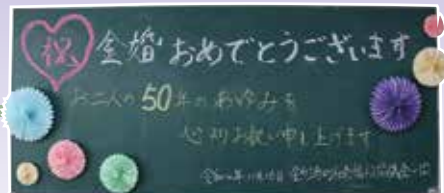
【多年にわたり、社会福祉事業に従事した者】



まつもと れいこ
松本 レイ子 様
(福)愛護会
金ケ崎町子育て支援センター 所長

1 金婚を祝う会

トピックス



11月16日(水)中央生涯教育センター多目的ホールを会場に金婚を祝う会を開催いたしました。

今年は、昭和47年にご結婚されたご夫婦19組38名が出席され、社会福祉協議会と老人クラブ連合会から褒章状と記念写真がそれぞれ贈られました。

金婚者挨拶では代表の立花正彦さんから「50年の年月を無事に過ごし、地域活動に参加できるのも、地域の皆様や町をはじめとする各事業のおかげ。今後も健康第一を心がけ、地域社会に役立てるよう頑張っていくたい。」と、温かいご挨拶をいただきました。



金婚者代表挨拶
立花正彦・東亜子ご夫妻

おめでとうございます

金婚を祝う会
出席者ご芳名

立花正彦	東亜子	三浦三男	節子	菊地幸夫	千代	小原敬	千賀子
遠藤光彦	伊那子	宮本寛	幸子	高橋清記	由美子	佐藤侃	敏子
濱田健一	京子	坂田隆之	京子	及川祐一	令子	千葉照見	順子
後藤輝雄	喜久榮	高橋勤一	好子	高橋定一	二三子	小原正一	エミ子
伊藤富雄	照子	高橋由一	宏子	高橋與悦	敬子	敬称略	結婚月日順

2 100歳記念長寿祝品贈呈式

トピックス

【小澤イナさん】 10月1日、小澤イナさんの長寿記念品贈呈式が西根艶坂のご自宅で行われました。

若いころから米農家と駒丘での炭焼きの仕事を行い、鍛えられた足腰で90歳を過ぎるまで自転車に乗られていたそうです。長寿の秘訣は、必ず3食食べることで「食事が一番大事」というイナさんは、現在も身の回りのことは全て自分でこなしているとのこと。

ケーキに立てられたそうそくの火をすべてしっかりと吹き消し、「ありがとう」と穏やかな笑顔で感謝を述べていました。



【有住宮子さん】 10月26日、介護予防施設西光荘で有住宮子さんの長寿記念品贈呈式が行われました。

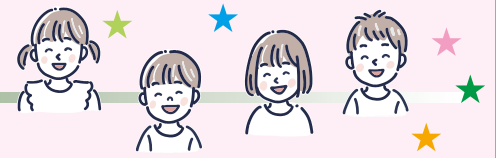
小学校の養護教諭として、県内各校に勤務し、退職後は老人クラブなどの活動で歌や踊り、裁縫に親しみ、仲間との交流を楽しんだそうです。グループホームでは、いつも笑顔で周りへの気遣いを忘れず穏やかに過ごされているとのこと。

贈呈式では、「今日は皆さまに参列いただき、立派な式を開いてもらい光栄なこと」と笑顔で感謝を述べていました。



3 はっぴいふれいすかねがさき

トピックス



第 27 回はっぴいふれいすかねがさき

第 27 回目 (6 月 25 日開催) は、ドライブスルー形式での受渡しとし、鶏から家のからあげ丼を 111 名の参加者へお渡しすることができました。また、金ヶ崎町 JA 女性部様には、手作りの牛乳寒天と新鮮野菜を配付いただきました。

第 28 回はっぴいふれいすかねがさき

第 28 回目 (9 月 23 日開催) は、コロナウイルス感染の拡大により約 3 カ月ぶりの開催となりました。前回同様ドライブスルーでの受け渡しとし、NIKO(煮心)さんのやきそば&からあげランチと地域の方々からのお米や野菜、企業からの寄付物品を 99 名の参加者へお渡しすることができました。



第 29 回はっぴいふれいすかねがさき

第 29 回目 (10 月 29 日開催) は、ふれ愛食堂特製ハロウィンカレーランチを 114 名の参加者へお渡ししました。また、金ヶ崎町 JA 女性部様からは、採れたてピーマンの詰め放題と手作りのかぼちゃのいとこ煮を配付いただきました。



同日、NPO 法人希望の星様より米を 32 袋 (1 袋 30 kg) ご寄付いた

だき、希望家庭へお渡しさせていただきました。保護者からは「食べ盛りの子もたちがいるので、お米はとても助かります。」と感謝の声を多くいただきました。たくさんのご支援、ご協力ありがとうございます。



水沢信用金庫との連携協力協定締結式



11 月 18 日、水沢信用金庫と当協議会は子ども食堂による子どもの居場所づくり支援連携協力協定を結びました。

12 月 1 日から開始する「みずしん SDG s 応援定期預金」契約総額の 0.025% が当協議会と奥州市社会福祉協議会へ寄付されます。今後も継続して支援いただけるということで、子どもの居場所作りの継続と地域交流の輪を広げる大きな力となります。ありがとうございます。

《生活福祉資金 教育支援資金貸付のご案内》

生活福祉資金の教育支援資金は、所得の少ない世帯に対し、学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、大学の入学・就学に必要な経費を貸付するものです。

合格発表前でも、入学願書・受験票の写しや納入期限が確認できる書類を添付して申込書の提出ができます。また、本制度よりも優先される公的制度があります。詳しい内容については、お気軽にご相談下さい。

(総務企画・地域福祉課 44-6060)

歳末たすけあい運動に ご協力をお願いします

金ケ崎町歳末たすけあい運動は、共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるように、みなさまからの募金を義援金としてお届けするたすけあいの事業です。

スローガン

つながり ささえあう みんなの地域づくり

期間

令和4年12月1日～12月31日

義援金の配分について

皆さまからお寄せいただいた募金は、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、母子・父子世帯、常時介護・生活介助を要する方がいる世帯に12月22日頃から配分予定です。

なお、配分については、歳末たすけあい運動検討委員会を設置し、配分方法及び金額について検討し、金ケ崎町社会福祉協議会理事会で決定いたします。

【義援金配分式】 義援金は、民生委員児童委員協議会のみなさまにご協力いただき、各地区の対象世帯のみなさまへお届けさせていただきます。



歳末たすけあい演芸大会 かねがさき

唄って 踊って 歳末チャリティーショー



期日：令和4年12月10日(土)

2回
公演

◆午前の部 10時～11時(開場 9時)

◆午後の部 14時～15時(開場13時)

会場：金ケ崎町中央生涯教育センター

入場券 義援金として前売券1枚 500円で販売

入場券取扱い窓口 金ケ崎町社会福祉協議会・下記協賛団体

主催/金ケ崎町社会福祉協議会・岩手県共同募金会金ケ崎町共同募金委員会
後援/金ケ崎町

協賛/町老人クラブ連合会・町身体障害者福祉協会・町商工会・町民生委員
児童委員協議会・町自治会長連絡協議会・町ボランティア連絡協議会
・金ケ崎ライオンズクラブ

【お問い合わせ】 金ケ崎町社会福祉協議会 TEL 44-6060・44-3121

※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止する場合があります。

令和5年度 福祉のまちづくり支援事業

～ 助成事業を募集します ～

岩手県共同募金会では県内のみなさまからいただいた募金を財源とし、地域で身近な福祉課題の解決に取り組んでいる団体に対して必要となる**備品の購入経費**を助成します。

●対象団体

地域の福祉向上を目的に活動する 県内のボランティア・NPO団体や、町内会・自治会等任意の住民グループ

●申請期間

令和4年10月14日(金)～12月15日(木)

●助成決定及び助成金の交付

助成の採否は令和5年3月末に決定し、令和5年4月上旬に各団体宛てに岩手県共同募金会から通知します。また、助成金の交付は原則前払いとし、団体からの申請を受けて指定金融機関口座に振り込まれます。

※助成事業の詳細、申請書等は下記のホームページをご覧ください。

【岩手県共同募金会福祉のまちづくり支援事業】

<http://www.akaihane-iwate.or.jp/jyosei/fukushi.html>

地域福祉事業

こんな事を
しています



あいさつ

総務企画・地域福祉課

係長 鈴木知里
福祉活動専門員

私が、地域福祉事業に携わる中で感じたことは、町内には SOS(助けて！)が多く存在するということです。3食満足には食べられない、手元に10円しかない、足が無く買い物に行けない、母親の代わりに児童が幼い兄弟を世話している、料理が出来ず毎日カップラーメン、在宅介護に疲弊している、何日も一人で人と会話することも無いなど、これらは氷山の一角にすぎません。そして、これらの SOS は周りには見えない、見えにくいということがさらに問題を深刻化させているということです。

そこで、社会福祉協議会は誰一人もとりにほさない、子どもからお年寄りまでだれもが安心して暮らせる地域を目指し、必要なサービスの開発やサポートをしています。しかし、社協職員だけでは到底達成することはできません。そこで、大きな力となっているのが、社協会費や赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動、ボランティア活動等、地域の皆様の温かいご支援ご協力です。いつもありがとうございます。

一人では小さな力でも集まれば大きな力となります。私もあきらめずビックスマイルで頑張ります!!
ぜひ、今後とも皆さまのお力添えをお願い致します。



外出支援サービス



ご近所支え合いマップづくり



ボランティアスクール



はっぴいぐれいす かねがさき



ハウスヘルパー

みんなで地域を支えています

感謝



スノーバスターズ



買い物支援バス

地域の未来につながります

ぜひ皆様のお力をお貸しください!



調理ボランティア



配食サービス



訪問理美容サービス



オレンジカフェ

※写真は社協事業
の中の一部とな
ります

寄付の報告

令和4年9月1日から11月18日までの受付分

○物品寄付 三菱製紙(株)北上事業本部 様 点字カレンダー 97部
 *社協(視覚障がい者部会へ)

JA岩手ふるさと金ケ崎地域女性部 様 大根 50本
 *ワークステーションへ

○福祉基金

高橋 永治 様 30,000円
 高橋 健一 様 30,000円
 石川 幸人 様 30,000円
 安藤 武志 様 30,000円
 高橋 秀典 様 50,000円

○はっぴいぶれいすへ

高橋 政喜 様 米 30kg 2袋
 (株)ハローワーク 様 玉ねぎ、人参、かぼちゃ 15kg
 JA岩手ふるさと金ケ崎地域女性部
 佐藤 早苗 様 ピーマン 2箱
 NPO法人希望の星 様 米 32袋 (1袋30kg)



会長の 想い

Part 10

第47回金ケ崎町社会福祉大会所感

金ケ崎町社会福祉協議会 会長 高橋 範夫



去る11月10日(木)第47回金ケ崎町社会福祉大会を無事終えました。残念ながら今回もコロナ感染拡大が収束していないことから、大幅に規模を縮小して行いました。この大会は、町内の社会福祉の向上に尽力された方々、福祉作文で入賞された児童・生徒を表彰。そして、共同募金会からの感謝状を伝達し、併せて、町の社会福祉の一層の発展を目指して開催したものです。

本大会を振り返ってみますと、特に多年にわたり福祉に携わり、しかもコロナ感染を恐れず献身的に利用者と接し不安と恐怖が入り混じった日々の中で業務に携わってきた社会福祉事業功労者には、その使命感と勇気を称えられずにはいられません。またボランティア功労者は、児童・生徒の見守り、読み聞かせ更には調理の支援活動など顕著な個人・団体を表彰させて頂きました。受賞者は、奉仕の心と地域の安全確保、更には地域をもっとよくしたいと思う気持ちが強い方々と思います。他方、多年にわたり在宅介護に尽くされた方々には褒賞状を授与させて頂きました。一口に介護といっても想像以上に自身の体力の消耗、気力の衰え更には葛藤があったものと察しますが、思いやりと、愛情・豊かな人間性によって苦難を乗り越えられてきたものと思います。私は、自身の体力・気力が限界にきた際は、遠慮なせずに当社協に助けを求めて頂きたいと思っています。助けを求めるのに躊躇しないで下さい。

結びに受賞された皆様には改めてお祝い申し上げます。これからもそれぞれの立場で活躍されますことを心からご祈念申し上げます。今年も残り一か月を切りました。ご自愛の上、健康を保持し、いい年を迎えてください。

令和5年度学童保育所入所申込について

学童保育所の入所を希望される方は、入所関係の書類を準備しておりますので下記へご連絡ください。又は金ケ崎町社会福祉協議会のHPより書類をダウンロードすることができます。

- 金ケ崎学童保育所 TEL 44-6080
受付時間【月曜日～金曜日】13:00～18:00・【土曜日】9:00～17:30
- 三ヶ尻学童保育所 TEL 42-4641 ●北部学童保育所 TEL 43-2133
- 永岡学童保育所 TEL 41-0075 ●西学童保育所 TEL 47-5551
受付時間【月曜日～金曜日】14:00～18:00

入所申込受付期間 令和4年12月1日～12月28日まで

※新規で入所の方は、お子さんを連れてお申込みください。

※受付期間を過ぎても定員に余裕がある場合は、随時受付いたします。

社会福祉法人 金ケ崎町社会福祉協議会

☎029-4503 金ケ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内
 TEL: 0197-44-6060 FAX: 0197-44-6106
 Eメール: kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp
 ホームページ <http://www.kin-syakyo.jp>

★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています



ファミリーサポートセンター かねがさき 会員募集中!

ファミサポかねがさきでは、子育てを手伝ってほしい「おねがい会員」と子育てのお手伝いをしてくれる「まかせて会員」を募集しています。興味のある方は下記お問い合わせ先までお気軽にお電話ください。

★「おねがい会員」 町内にお住まいの方、または町内に勤務されている方で、おおむね1歳～小学6年生までのお子さんをお持ちの方。

★「まかせて会員」 町内にお住まいの心身共に健康で子どもを預かることができる方。

※子育て支援の有償ボランティア活動です。

★「両方会員」

「おねがい会員」と「まかせて会員」の両方を兼ねている方。



お問い合わせ・お申込み先
 ファミリー・サポート・センターかねがさき
 (金ケ崎町社会福祉協議会内)
 TEL: 44-6060 FAX: 44-6106